

2015年8月6日
在リオデジャネイロ日本国総領事館

リオ州の治安情報第40号

レブロン地区の住宅街で侵入強盗事件が連続発生

8月4日（火）午後、強盗集団がレブロン地区の住宅（マンション）内に侵入し、少なくとも3世帯を襲撃、住民を人質にするなどして現金や宝石等を奪って逃走しました。

1 発生日時

平成27年8月4日午後3時頃～午後7時頃の間

2 発生場所

レブロン地区マンション（Rua Aristides Espinola 11, Leblon）

3 状況

上記日時において、犯人グループ（8名）がマンションの警備担当者から各個人宅の鍵を奪ってマンション内に侵入。その後、少なくとも3世帯を連続して襲撃し、子供を含む住民を人質にするなどして多額の現金、宝石、電気器機等を奪って逃走。

事件を察知した警察は、現場に急行したが、既に犯人グループは逃走していた。現在、近くの防犯カメラの映像を解析するなどして、被疑者の特定に当たっている。

4 当館から

当地軍警察によれば、犯人グループは、より裕福且つ襲撃しやすいマンションを選定すべく、綿密な下見を行った後計画的に犯行に及んだ可能性があるとして調べを進めています。

また、犯人グループは依然として身柄を確保されておらず、今後も同種犯罪に対する警戒が必要です。

特にイパネマ、レブロン地区には、多くの邦人の方々が居住しており、当館から、管轄する第23軍警察本部に対して、住宅街の巡回パトロールの強化を申し入れています。